

## 高松市との合併に関する 香川町民まちづくり意向調査結果の概要

### ・調査の概要

#### 1．調査の目的

本調査は、「高松市・香川町合併協議会」が作成する新市の将来構想・建設計画に対して、町民の意向を反映させることを目的として実施したものである。

#### 2．調査の対象

本調査の対象は、住民基本台帳(平成16年6月1日現在)にもとづき、無作為抽出した3,000名を対象とした。

#### 3．調査の実施期間

本調査の実施期間は、平成16年7月9日(金)から平成16年7月23日(金)とした。

#### 4．配布・回収の方法

配布・回収とも郵送により行った。

#### 5．有効回収票数、有効回収率

全問無回答の回収票数は除いた有効回収票数1,026票であり、回収率は34.2%であった。

#### 6．設問別有効回答率

設問別にみた有効回答率(無回答・無効回答票数を除いた回答票の有効回収票数に占める割合)は、以下のとおりである。

	有効回答率(%)	備考	
問1	96.7(最低)~98.1(最高)	項目によって異なるため	
問2	98.5		
問3	95.6		
問4	(1)	76.2	新規居住者が回答できなかったため
	(2)	86.5	
	(3)	86.7	
問5	98.2		
問6	97.0		
問7	97.0		
問8	97.0		
問9	97.1		
問10	97.0		

## ．調査の結果（単純集計）

### 1．回答者の属性

#### （1）性別

男性41.5%、女性56.3%と女性がかなり男性を上まわっている。不明を除いた男女比は、男性1：女性1.36である。

#### <回答者性別> （SA）

カテゴリー	件数	%
男性	426	41.5
女性	578	56.3
無回答	22	2.2
サンプル数（%ベース）	1026	100.0

注）SAとは：シングルアンサーの略で、選択肢の中から1つだけ回答を求めたもの（以下同）

#### （2）年齢階層

50歳代が21.4%と最も多く、60歳代の20.5%がこれに続く。以下、70歳代以上、40歳代、30歳代と続き、20歳代、及び（そもそもサンプル数が少ない）10歳代は少ない。

#### <回答者年齢階層> （SA）

カテゴリー	件数	%
10歳代	12	1.2
20歳代	113	11.0
30歳代	127	12.4
40歳代	158	15.4
50歳代	220	21.4
60歳代	210	20.5
70歳代以上	177	17.3
無回答	9	0.8
サンプル数（%ベース）	1026	100.0

### (3) 家族構成

「親子」が44.2%と最も多く、次いで「夫婦」25.3%、「三世代」21.9%と続く。「単身」と「その他」は少ない。

#### <回答者家族構成> (SA)

カテゴリー	件数	%
単身	54	5.3
夫婦	260	25.3
親子	453	44.2
三世代(親、子、孫)	225	21.9
その他	21	2.0
無回答	13	1.3
サンプル数(%ベース)	1026	100.0

### (4) 居住地

浅野地区が38.6%と最も多く、次いで大野地区(25.5%)川東上地区(15.9%)、川東下地区(8.9%)と続き、その他の地区のウェイトは小さい。

#### <回答者居住地> (SA)

カテゴリー	件数	%
大野	262	25.5
寺井	10	1.0
浅野	396	38.6
川内原	45	4.4
川東上	163	15.9
川東下	91	8.9
東谷	26	2.5
安原下	21	2.0
無回答	12	1.2
サンプル数(%ベース)	1026	100.0

### (5) 居住年数

「20年以上」が65.4%と圧倒的に高く、次いで「10年以上20年未満」(16.2%)、「5年未満」(8.3%)、「5年以上10年未満」(8.0%)の順となっている。

#### <回答者年居住年数> (SA)

カテゴリー	件数	%
5年未満	85	8.3
5年以上10年未満	82	8.0
10年以上20年未満	166	16.2
20年以上	671	65.4
無回答	22	2.1
サンプル数(%ベース)	1026	100.0

### (6) 職業

「会社員・団体職員」の26.5%を筆頭に、「(専業)主婦」の24.6%が相対的に多く、以下、「無職」(17.3%)、「パート、アルバイト、フリーター」(7.6%)、「商工サービス自営業」(6.4%)、「公務員」(5.4%)、「農林水産業」(5.2%)の順となっている。

#### <回答者職業> (SA)

カテゴリー	件数	%
会社員・団体職員	272	26.5
公務員	55	5.4
商工サービス自営業	66	6.4
農林水産業	53	5.2
自由業	18	1.8
パート・アルバイト・フリーター	78	7.6
学生	31	3.0
主婦	252	24.6
無職	178	17.3
その他	10	1.0
無回答	13	1.2
サンプル数(%ベース)	1026	100.0

## 2・1 香川町の生活環境の評価について〔問1〕

「25.全体として公共サービスが行き届いている」との設問項目については、「そう思う」とする肯定的回答（以下、肯定的評価と表記）が6.7%、「ふつう」とあるという回答が49.0%、「そう思わない」とする否定的回答（以下、否定的評価と表記）が、34.4%となっている。

残る24の項目についてみると、「8.買い物が便利である」、「2.公害が少ない」、「3.ごみ処理体制が整っている」、「1.自然林や自然環境が保たれている」、「5.住宅事情が良い」、「11.道路が整備されている」、「23.消防体制が整っている」の7項目では肯定的評価が否定的評価を上まわっている。

一方、残る17項目は否定的評価が肯定的評価を上まわっており、特に「10.公共交通機関が便利である」の70.7ポイントが筆頭に、「6.就業・雇用の場に恵まれている」、「9.まちににぎわいがある」、「7.余暇活動が楽しめる」、「15.芸術文化活動がしやすい」の5項目では、否定的評価と肯定的評価の差は30ポイント以上に達しており、その改善・整備が大きな課題となっていることをうかがわせている。

<香川町の生活環境評価>

項 目	評 価	そう思 う(%)	ふつう (%)	そう思 わない (%)	わから ない (%)	有効回 答票数 (票)
1. 自然林や自然環境が保たれている		25.1	56.5	16.8	1.6	992
2. 公害が少ない		37.0	45.6	14.8	2.6	998
3. ごみ処理体制が整っている		33.3	49.4	14.7	2.6	1,006
4. し尿処理体制が整っている		17.3	42.4	30.1	10.2	1,003
5. 住宅事情が良い		24.9	57.8	14.0	3.3	997
6. 就業・雇用の場に恵まれている		2.7	26.7	62.8	7.8	999
7. 余暇活動が楽しめる		6.9	38.3	48.9	5.9	996
8. 買い物が便利である		38.3	42.1	19.4	0.2	1,002
9. まちににぎわいがある		4.3	36.3	55.7	3.7	1,002
10. 公共交通機関が便利である		5.2	17.8	75.9	1.1	998
11. 道路が整備されている		24.0	53.7	21.1	1.2	999
12. 子育てが安心してできる		14.3	57.4	16.1	12.2	995
13. 教育環境がよい		15.2	58.0	17.2	9.6	1,000
14. 生涯学習の機会が豊富である		11.0	42.0	30.3	16.7	999
15. 芸術文化活動がしやすい		6.4	34.9	40.7	18.0	998
16. スポーツ活動がしやすい		11.8	45.9	29.6	12.7	999
17. 医療が充実している		12.5	49.3	34.7	3.5	1,007
18. 保健が充実している		9.7	56.9	22.1	11.3	999
19. 福祉が充実している		9.1	50.1	26.7	14.1	1,003
20. 交通安全対策が充実している		5.4	54.5	30.7	9.4	1,001
21. 災害に対して安全である		12.0	45.3	23.9	18.8	998
22. 防犯体制が整っている		4.8	42.0	34.6	18.6	1,003
23. 消防体制が整っている		15.5	56.2	13.8	14.5	1,001
24. 近所づきあいがしやすい		15.8	61.9	18.9	3.4	1,002
25. 全体として公共サービスが行き届いている		6.7	49.0	34.4	9.9	1,004

（注） 印は否定的評価が肯定的評価を上まわっている項目。

## 2・2 定住意欲について [問2]

「住み続けたい」が46.4%、「できるだけ住みたい」が36.5%、「住みたくない」が8.3%、「わからない」が8.8%。であり、「住み続けたい」、「できるだけ住みたい」を合わせた定住意向を持つ町民は8割以上(82.9%)に達する。

<今後とも香川町に住み続けたいか> (SA)

カテゴリー	件数	%
住み続けたい	469	46.4
できるだけ住みたい	369	36.5
住みたくない	84	8.3
わからない	89	8.8
サンプル数(%ベース)	1011	100.0

## 2・3 不便・不満を感じる施設について [問3]

「25.バス等公共交通機関」への不満が52.2%と最も高く、次いで「3.防犯灯、街路灯(40.0%)」、「18.公園や広場(36.6%)」、「6.病院(25.3%)」、「4.遊歩道、自転車道(20.7%)」の順で高い。このほか、「14.屋外スポーツ施設(14.1%)」、「24.駐在所(13.9%)」、「5.道路(12.2%)」も10%を超えており、相対的に不便・不満度が高い。

<不便・不満を感じる施設> (MA)

	カテゴリー	件数	%
25	バス等公共交通機関	512	52.2
3	防犯灯、街路灯	392	40.0
18	公園や広場	359	36.6
6	病院	248	25.3
4	遊歩道、自転車道	203	20.7
14	屋外スポーツ施設	138	14.1
24	駐在所	136	13.9
5	道路	120	12.2
27	マーケット、商店	90	9.2
7	役場	82	8.4
15	屋内スポーツ施設	79	8.1
2	信号機	55	5.6
16	文化センター	50	5.1
1	歩道橋、横断歩道	47	4.8
8	保育所	33	3.4
20	保健福祉総合センター	25	2.5
12	中学校	24	2.4
19	社会福祉センター	20	2.0
22	葬祭場	20	2.0
26	金融機関	20	2.0
13	公民館	18	1.8
9	児童館	17	1.7
10	幼稚園	15	1.5
21	環境センター	12	1.2
23	消防署	10	1.0
11	小学校	7	0.7
17	改善センター	5	0.5
	サンプル数(%ベース)	981	

注) MAとは：マルチアンサーの略で、選択肢の中から複数の回答を求めたもの(以下同)

## 2・4 香川町が取り組んできた施策・事業に対する評価について [問4]

### 2・4・1 ここ10年くらいの間に良くなったもの

「18.ごみ処理対策」の41.9%を筆頭に、次いで「4.高齢者福祉対策」(34.5%)、及び「26.道路交通網の整備」(25.2%)、「1.保健対策」(22.1%)、「30.下水道の整備」(21.2%)の評価が高い。

このほか、「2.医療対策」(19.6%)、「3.保育所など児童福祉対策」(18.0%)、「9.生涯学習の推進」(16.8%)、「14.スポーツ・レクリエーションの振興」(15.3%)、「19.し尿処理対策」(11.3%)、「28.河川・水路の整備」(10.6%)、「29.上水道の整備」(10.5%)、「32.体育施設の整備」(10.4%)も10%以上の回答率を占めている。

<ここ10年くらいの間に良くなったもの> (MA)

	カテゴリー	件数	%
18	ごみ処理対策	328	41.9
4	高齢者福祉対策	268	34.3
26	道路交通網の整備	197	25.2
1	保健対策	174	22.3
30	下水道の整備	166	21.2
2	医療対策	153	19.6
3	保育所など児童福祉対策	141	18.0
9	生涯学習の推進	131	16.8
14	スポーツ・レクリエーションの振興	120	15.3
19	し尿処理対策	88	11.3
28	河川・水路の整備	83	10.6
29	上水道の整備	82	10.5
32	体育施設の整備	81	10.4
31	学校施設の整備	74	9.5
21	消防防災対策	70	9.0
5	障害者福祉対策	51	6.5
8	学校教育の推進	44	5.6
27	公園・緑地の整備	42	5.4
16	ボランティアなどの地域福祉の充実	41	5.2
6	国民健康保険などの社会保障の充実	39	5.0
24	節水対策	39	5.0
20	交通安全対策	36	4.6
12	芸術文化の振興	35	4.5
34	情報通信システムの整備	35	4.5
10	青少年の健全育成	34	4.3
11	女性の社会参画	34	4.3
40	イベント事業の推進	34	4.3
35	商業の振興	33	4.2
7	人権・同和対策の推進	32	4.1
15	自治会などの地域活動の推進	32	4.1
17	環境保全の推進	31	4.0
25	土地の有効利用の推進	26	3.3
44	広域行政	19	2.4
41	企業の誘致	18	2.3
22	防犯対策	15	1.9
33	図書館などの文化施設の整備	12	1.5
42	コミュニティづくりの推進	12	1.5
13	国際交流の推進	10	1.3
39	観光の振興	10	1.3
23	省エネルギー対策	9	1.2
37	農林水産業の振興	7	0.9
38	工芸・特産品の振興	6	0.8
45	行財政改革	6	0.8
43	地方分権	4	0.5
36	工業の振興	2	0.3
46	その他	3	0.4
	サンプル数(%ベース)	782	

## 2・4・2 今すぐにも改善または推進しなければならないもの

特定の施策・事業への強い集中はみられないものの、「33.図書館などの文化施設の整備」(23.0%)を筆頭に、「10.青少年の健全育成」(21.1%)、「22.防犯対策」(20.7%)、「4.高齢者福祉対策」(19.5%)、「2.医療対策」、「30.下水道の整備」(ともに19.1%)、「27.公園・緑地の整備」(18.4%)が20%前後の回答率を得ている。

このほか、「6.国民健康保険などの社会保障の充実」(15.3%)、「45.行財政改革」(14.8%)、「26.道路交通網の整備」(14.7%)、「8.学校教育の推進」(13.2%)、「20.交通安全対策」(13.1%)のほか、「19.し尿処理対策」、「41.企業の誘致」、「17.環境保全の推進」、「18.ごみ処理対策」、「3.保育所など児童福祉対策」も10%を超える回答率を得ている。

<今すぐにも改善または推進しなければならないもの> (MA)

	カテゴリー	件数	%
33	図書館などの文化施設の整備	204	23.0
10	青少年の健全育成	187	21.1
22	防犯対策	184	20.7
4	高齢者福祉対策	173	19.5
2	医療対策	169	19.1
30	下水道の整備	169	19.1
27	公園・緑地の整備	163	18.4
6	国民健康保険などの社会保障の充実	136	15.3
45	行財政改革	131	14.8
26	道路交通網の整備	130	14.7
8	学校教育の推進	117	13.2
20	交通安全対策	116	13.1
19	し尿処理対策	112	12.6
41	企業の誘致	109	12.3
17	環境保全の推進	103	11.6
18	ごみ処理対策	100	11.3
3	保育所など児童福祉対策	99	11.2
25	土地の有効利用の推進	88	9.9
34	情報通信システムの整備	81	9.1
5	障害者福祉対策	80	9.0
15	自治会などの地域活動の推進	72	8.1
28	河川・水路の整備	69	7.8
35	商業の振興	69	7.8
23	省エネルギー対策	65	7.3
24	節水対策	63	7.1
16	ボランティアなどの地域福祉の充実	58	6.5
37	農林水産業の振興	49	5.5
40	イベント事業の推進	47	5.3
9	生涯学習の推進	45	5.1
31	学校施設の整備	45	5.1
1	保健対策	42	4.7
14	スポーツ・レクリエーションの振興	41	4.6
44	広域行政	41	4.6
42	コミュニティづくりの推進	39	4.4
39	観光の振興	35	3.9
36	工業の振興	34	3.8
11	女性の社会参画	31	3.5
43	地方分権	30	3.4
12	芸術文化の振興	29	3.3
21	消防防災対策	29	3.3
32	体育施設の整備	27	3.0
38	工芸・特産品の振興	24	2.7
29	上水道の整備	23	2.6
7	人権・同和対策の推進	21	2.4
13	国際交流の推進	20	2.3
46	その他	12	1.4
	サンプル数(%ベース)	887	

## 2・4・3 長期的（10年以内ぐらい）に力を入れなければならないもの

2・4・2と同様、町民の意向は多岐にわたっているが、「33.図書館などの文化施設の整備」（21.0%）を筆頭に、「4.高齢者福祉対策」（20.0%）、「27.公園・緑地の整備」（19.4%）、「41.企業の誘致」（18.2%）の4者が2割前後の回答率を得ている。

これに次ぐのは、「30.下水道の整備」（16.7%）、「23.省エネルギー対策」、「25.土地の有効利用の推進」（ともに16.4%）、「6.国民健康保険などの社会保障の充実」（13.9%）、「2.医療対策」、「22.防犯対策」（ともに13.8%）、「17.環境保全の推進」（13.6%）であり、「45.行財政改革」、「39.観光の振興」、「34.情報通信システムの整備」、「16.ボランティアなどの地域福祉の充実」、「10.青少年の健全育成」も回答率が10%を超えている。

<長期的（10年以内ぐらい）に力を入れなければならないもの> (MA)

	カテゴリー	件数	%
33	図書館などの文化施設の整備	187	21.0
4	高齢者福祉対策	178	20.0
27	公園・緑地の整備	173	19.4
41	企業の誘致	162	18.2
30	下水道の整備	149	16.7
23	省エネルギー対策	146	16.4
25	土地の有効利用の推進	146	16.4
6	国民健康保険などの社会保障の充実	124	13.9
2	医療対策	123	13.8
22	防犯対策	123	13.8
17	環境保全の推進	121	13.6
45	行財政改革	110	12.4
39	観光の振興	104	11.7
34	情報通信システムの整備	101	11.3
16	ボランティアなどの地域福祉の充実	98	11.0
10	青少年の健全育成	97	10.9
9	生涯学習の推進	85	9.6
26	道路交通網の整備	84	9.4
24	節水対策	82	9.2
5	障害者福祉対策	77	8.7
12	芸術文化の振興	74	8.3
19	し尿処理対策	74	8.3
35	商業の振興	74	8.3
8	学校教育の推進	73	8.2
15	自治会などの地域活動の推進	70	7.9
18	ごみ処理対策	70	7.9
28	河川・水路の整備	66	7.4
37	農林水産業の振興	66	7.4
44	広域行政	64	7.2
13	国際交流の推進	60	6.7
42	コミュニティづくりの推進	59	6.6
1	保健対策	58	6.5
40	イベント事業の推進	58	6.5
3	保育所など児童福祉対策	52	5.8
31	学校施設の整備	52	5.8
36	工業の振興	48	5.4
43	地方分権	47	5.3
20	交通安全対策	45	5.1
14	スポーツ・レクリエーションの振興	44	4.9
38	工芸・特産品の振興	42	4.7
11	女性の社会参画	36	4.0
32	体育施設の整備	34	3.8
21	消防防災対策	31	3.5
29	上水道の整備	21	2.4
7	人権・同和対策の推進	12	1.3
46	その他	4	0.4
	サンプル数（%ベース）	890	

## 2・5 香川町と高松市の合併協議会について

### 2・5・1 合併協議会の認知 [問5]

「よく知っている」が75.9%、「聞いたことがある」が23.6%となっており、ほぼ100%近くの町民が認知している。

< 香川町と高松市との合併協議会の認知度 > (SA)

カテゴリー	件数	%
よく知っている	765	75.9
聞いたことがある	238	23.6
まったく知らない	5	0.5
サンプル数(%ベース)	1008	100.0

### 2・5・2 合併によって期待される効果と合併による不安 [問6、問7]

#### (1) 合併への期待と不安

回答者の24.9%が「合併による期待はとくにない」と回答、同じく18.6%が「合併による不安はない」と回答しているが、残る56.5%は、「合併によって期待される効果」と「合併による不安」の双方の設問に回答している。このように、過半数の町民は、合併に対して、「期待」と「不安」の双方を感じているといえる。

#### (2) 合併によって期待される効果

「1. 議員・職員等の削減によって経費が節減できる」が52.4%と圧倒的に高く、次いで、「2. 市町が異なることで利用しにくかった公共施設や行政窓口が利用しやすくなる」(30.3%)、「6. 市となることによって、地域のイメージアップや活性化が図られる」(20.7%)が高く、「4. 公共交通、産業、環境、地域情報化対策など、重点的な広域的取り組みができる」(19.8%)、「10. 生活圏と行政圏が一つになり、行政サービスの均質化が図れる」(16.7%)、「7. 効率的な行財政運営が進む」(15.0%)、「3. 専門的な職員が採用・増強でき、高度な行政サービスが受けられる」(13.8%)がこれに続いている。

なお、(1)で述べたとおり、「11. 合併による期待はとくにない」とする回答は24.9%を占めている。

< 合併によって期待される効果 > (MA)

	カテゴリー	件数	%
1	議員・職員等の削減によって経費が節減できる	521	52.4
2	市町が異なることで利用しにくかった公共施設や行政窓口が利用しやすくなる	301	30.3
6	市となることによって、地域のイメージアップや活性化が図られる	206	20.7
4	公共交通、産業、環境、地域情報化対策など、重点的な広域的取り組みができる	197	19.8
10	生活圏と行政圏が一つになり、行政サービスの均質化が図れる	166	16.7
7	効率的な行財政運営が進む	149	15.0
3	専門的な職員が採用・増強でき、高度な行政サービスが受けられる	137	13.8
8	安価で質の高いさまざまな行政サービスが受けられる	115	11.6
5	合併による特例措置などによって効果的な事業が実施できる	101	10.2
9	香川町地区の特性を活かした効果的なまちづくりができる	72	7.2
11	合併による期待はとくにない	248	24.9
12	その他	9	0.9
	サンプル数(%ベース)	995	

### (3) 合併による不安

「9.中心部だけが発展し、香川町地区を含めた周辺部との格差が広がる」(48.1%)を筆頭に、「1.行政区域が広がり、きめ細かな行政サービスが受けにくくなる」(43.8%)、「2.市役所が遠くなり、不便になる」(38.8%)、「3.公共料金が高くなり、住民の負担が増える」(36.0%)の4者が特に高い回答率を得ている。

なお、(1)で述べたとおり、「11.合併による不安はとくにない」とする回答は18.6%を占めている。

<合併による不安> (MA)

	カテゴリー	件数	%
9	中心部だけが発展し、香川町地区を含めた周辺部との格差が広がる	479	48.1
1	行政区域が広がり、きめ細かな行政サービスが受けにくくなる	436	43.8
2	市役所が遠くなり、不便になる	386	38.8
3	公共料金が高くなり、住民の負担が増える	358	36.0
4	大規模な事業を進めることによって、財政状況が悪化する	134	13.5
5	議員の数が減少することにより、住民の声が届きにくくなる	126	12.7
8	歴史、文化、伝統など地域の特性を活かしたまちづくりが進めにくくなる	91	9.1
7	大規模開発が進められ、環境が悪化する	87	8.7
6	地域のコミュニティ意識が低下し、住民同士の結びつきが弱まる	62	6.2
10	地域の特色ある産業や交流の振興がおろそかになる	51	5.1
11	合併による不安はとくにない	185	18.6
12	その他	22	2.2
	サンプル数(%ベース)	995	

### 2・5・3 合併協議を進める上での重要事項[問8]

「12.とくにない」は3.1%であり、残る97%近くの回答者は何らかの事項を回答している。

圧倒的に高いのは「1.地域における行政サービスの窓口としての支所・出張所の機能の整備」の66.8%であり、次いで「3.市役所や公共施設へ行きやすくなる公共交通手段の確保」(39.8%)、「6.地域の情報化の促進により、身近な所で行政サービスが受けられたり、住民間の交流がしやすくなるような方策」(34.7%)、「10.合併による財政シミュレーションの公表など、行財政改革による健全な行財政運営の明示」(30.8%)がこれに次いでいる。このほか、「9.地域の特性を活かしたバランスのとれた新しいまちづくり計画の策定」(21.9%)、「11.市議会選挙における選挙区制の導入等による香川町地区選出議員の確保」(21.2%)も相対的に高い。

<香川町と高松市の合併協議会を進める上で重要なもの> (MA)

	カテゴリー	件数	%
1	地域における行政サービスの窓口としての支所・出張所の機能の整備	665	66.8
3	市役所や公共施設へ行きやすくなる公共交通手段の確保	396	39.8
6	地域の情報化の促進により、身近な所で行政サービスが受けられたり、住民間の交流がしやすくなるような方策	345	34.7
10	合併による財政シミュレーションの公表など、行財政改革による健全な行財政運営の明示	306	30.8
9	地域の特性を活かしたバランスのとれた新しいまちづくり計画の策定	218	21.9
11	市議会選挙における選挙区制の導入等による香川町地区選出議員の確保	211	21.2
7	地域住民の声を市政に反映させるための地域自治組織の設置	176	17.7
4	住民交流を進め、生活の利便性を向上させるための道路などの社会資本整備 (合併特例債等の財政支援策の活用)	139	14.0
8	ボランティア活動支援など、財政負担を抑えた行政サービス水準の維持方策の推進	56	5.6
5	地区の伝統行事やスポーツなどを通じた両市町住民間の交流の拡大	55	5.5
2	自治会をはじめとする独自のコミュニティ活動の維持・発展と活動拠点の整備	53	5.3
12	とくにない	32	3.2
13	その他	13	1.3
	サンプル数(%ベース)	995	

## 2・6 合併による新しいまちづくりについて

### 2・6・1 求められる将来像 [問9]

62.0%を占めた「4.医療・救急体制、健康づくり対策などが充実した健康で安心して暮らせるまち」と57.8%を占めた「1.自然が豊かで、ゴミや公害のない自然環境を大切にするまち」を求める声が圧倒的に高い。次いで「6.道路、公園、上下水道などの生活環境が充実した便利で快適に暮らせるまち」（44.6%）、「5.高齢者や障害者を大切にし、人にやさしい心あたたまる福祉のまち」（32.9%）、「3.豊かな緑の田園環境を活かした質の高い生活文化を築くまち」（24.1%）、「9.学校教育・生涯学習が充実し、文化・スポーツ活動の活発な教育・文化のまち」（23.2%）と続いている。

< 香川町地区の将来像 > (MA)

	カテゴリー	件数	%
4	医療・救急体制、健康づくり対策などが充実した健康で安心して暮らせるまち	618	62.0
1	自然が豊かで、ゴミや公害のない自然環境を大切にするまち	576	57.8
6	道路、公園、上下水道などの生活環境が充実した便利で快適に暮らせるまち	444	44.6
5	高齢者や障害者を大切にし、人にやさしい心あたたまる福祉のまち	328	32.9
3	豊かな緑の田園環境を活かした質の高い生活文化を築くまち	240	24.1
9	学校教育・生涯学習が充実し、文化・スポーツ活動の活発な教育・文化のまち	231	23.2
8	農業や特産品など、地域の資源を活かした産業が育つ地域産業の元気なまち	126	12.7
7	活力ある工業やにぎわいある商業が育つ商工業のさかんなまち	88	8.8
10	地域の伝統的な祭りや芸能、里山の自然を活かした観光・交流の活発なまち	73	7.3
11	自治会やボランティア、NPOなどの住民参加による個性を育てるまち	60	6.0
2	芸能をはじめとする地域の伝統文化や歴史を大切にする歴史・伝統文化の香り高いまち	54	5.4
12	その他	13	1.3
	サンプル数 (%ベース)	996	

## 2・6・2 合併による新しいまちづくりの重要施策 [問10]

「5.子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり」の46.7%を筆頭に、次いで「7.高齢者や障害者にやさしいまちづくりの推進」(39.5%)、以下、「3.公園、都市景観、下水道整備など快適な都市環境の整備」(37.4%)、「4.防災・消防・防犯の充実、交通安全など安心な生活環境の整備」(36.4%)、「2.ごみ対策、リサイクル社会の形成など環境問題への対応」(36.2%)、「1.里山や河川など自然環境の保全と活用」(35.4%)、「6.地域保健や医療体制など健康づくりの充実」(35.2%)、「12.雇用を生みだす新しい産業の誘致、新しい事業を育てる仕組みづくり」(33.7%)が僅差で続いている。

<重点的に対応すべきと思われる施策> (MA)

	カテゴリー	件数	%
5	子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	465	46.7
7	高齢者や障害者にやさしいまちづくりの推進	393	39.5
3	公園、都市景観、下水道整備など快適な都市環境の整備	372	37.4
4	防災・消防・防犯の充実、交通安全など安心な生活環境の整備	362	36.4
2	ごみ対策、リサイクル社会の形成など環境問題への対応	360	36.2
1	里山や河川など自然環境の保全と活用	352	35.4
6	地域保健や医療体制など健康づくりの充実	350	35.2
12	雇用を生みだす新しい産業の誘致、新しい事業を育てる仕組みづくり	335	33.7
13	地区内外の公共交通サービスの充実	262	26.3
9	学校教育、社会教育、青少年健全育成など生涯学習社会の形成	258	25.9
15	身近な生活道路の整備	166	16.7
16	C A T Vや情報通信基盤の整備など高度情報社会への対応	152	15.3
20	広報活動の充実と情報公開の促進	145	14.6
18	住民と行政が協働してまちづくりに取り組む仕組みづくり	138	13.9
11	地域資源を活かした農業・観光など地域を支える産業の振興	123	12.4
14	幹線道路網の整備	106	10.7
17	自治会、ボランティア活動、N P Oの活性化による心ふれあう地域社会づくり	61	6.1
10	伝統芸能をはじめとする地域に根ざした個性ある文化・芸術の創造と振興	60	6.0
19	行事、イベントなど住民交流機会の充実	58	5.8
8	男女共同参画社会づくりなど人権を尊重する社会の確立	42	4.2
21	その他	15	1.5
	サンプル数(%ベース)	995	